

区議会第3回定例会が閉会

9月8日から10月7日まで、北区議会第3回定例会が開かれました。日本共産党北区議員団は、本会議や常任委員会、2025年度北区予算執行について審査する決算特別委員会で、物価高騰から暮らし・営業を守るための政策を訴えました。

積み上がった財調基金は区民の暮らし応援に

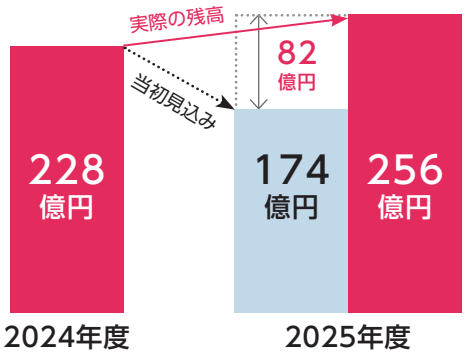
物価高騰が続く中、区民の暮らしと営業をどう守るかが最大の課題です。

党区議団は2025年度北区当初予算に対し、228億円に達していた財政調整基金の一部を活用して、総額約29億円の予算を組み替える動議を提出（**表参照**）、暮らしを応援する施策の実現を迫りました。

これに対し区は、「25年度末には財調基金が174億円まで減少する見込みで、組み替えを行う財政的余裕はない」とし、議会でも動議は反対多数で否決に。ところが1年間の予算執行の結果、財調基金は256億円にまで積み上がり、当初予算とのかい離は82億円にものぼりました（**グラフ参照**）。

潤沢な財政力がありながら、暮らしを応援する施策は不十分とし、党区議団は、25年度一般会計決算の認定に反対の立場を表明しました。

●北区の財政調整基金残高推移



●2025年度北区当初予算案に対する日本共産党の予算組み替え提案

- 北区独自の暮らし応援・物価高騰対策臨時給付金の支給
- 単身者・学生などへの家賃補助制度の創設
- 国保料均等割を18歳まで5割減額
- 学用品、修学旅行の無償化　など

総額 29億8000万円

貧困・格差広げる「行革」ストップ！

北区がヒューマンエラーにより予定価格を約2000万円も過大に見積もっていた区立特養やまぶき荘大規模改修工事積算誤りの問題で、党区議団はその背景に、北区が約40年で1200人以上の職員定数を削減してきた経過（**下記参照**）があることを指摘。「行革」路線を見直して削減に歯止めをかけ、職員が安心して仕事ができる環境づくりに取り組むべき、と提案しました。

北区「行革」でこれだけの職員が削減に

- 1983～87　第一次行革で298人削減
- 1995～99　第二次行革で301人削減
- 2000～02　緊急財政対策で298人削減
- 2005～19　経営改革プランで423人削減
- 2010～14　経営改革新5か年プランで94人削減
- 2015～19　経営改革プラン2015に基づき71人削減の予定が、待機児解消などのため、5年間で89人増員に
- 2020～23　経営改革2020に基づき54人削減の予定が、コロナ禍などのため、4年間で61人増員に
- 2024年3月策定の職員定数管理計画2024では、24年度からの6年間で57人増員としているが、今年度開設予定だった児童相談所で100人超の増員を見込んでおり、実質的には削減の計画となっている

日本共産党北区議員団ニュース
2026年 秋号
発行:日本共産党北区議員団
〒114-8508 北区王子本町1-15-22
日本共産党北区議員団 検索
https://kyoukita.jp

発行:日本共産党北区議員団　〒114-8508 北区王子本町1-15-22

時代遅れのタワマン再開発

王子駅前50階･190mツインタワー計画を見直し、修復型まちづくりに転換を

北区が推し進める大型開発中心の駅周辺まちづくり。いったい誰のためのまちづくりかが問われています。

竣工から 2 年の十条駅西口市街地再開発では 39 階･579 戸のタワーマンションを中心とした開発に約 240 億円の税金を投入、参入した民間企業が巨額の収益をあげました。さらに、王子駅前では 50 階・190 メートルのツインタワーを呼び込む先行実施地区の再開発計画を、来年 3 月までに決定しようとしています。

党区議団は、「全国で破綻しつつあるタワマン再開発を見直し、まちの歴史や魅力を残す、低層の修復型まちづくりへ転換を」と訴えました。



北とぴあより計画予定地を臨む

10 月に栄町で 3 棟目が完成
区営シルバーピア 合計 287 戸を整備

住宅に困っている単身高齢者を対象にしたシルバーピア。北区では民間賃貸借り上げ型から、区が建設して運営する区営シルバーピアへと移行してきました。これまで、赤羽北、滝野川の 2 棟を建設し、この 10 月に 3 棟目のシルバーピア栄町が完成。順次、入居が始まっています（3 棟で合計 287 戸）。

1DK の個室は完全バリアフリー。手すり付のお風呂、緊急通報システムやナースコール、12 時間生活リズムセンサーなど安全に配慮され、所得に応じた低廉な家賃も好評です。



新築された栄町シルバーピア

党区議団は今後も、公共住宅の増設を求めていきます。

区営シルバーピアへの申込みは 11 月の予定。詳細は北区ニュースで。お問合せは住宅支援係（☎3908-9203）へ。

滝野川第三小 通学バス登校始まる
児童･保護者に 寄り添った対応を

火災事故のあった滝野川第三小学校は、9 月 1 日より十条仲原にある旧清水小学校の校舎を使い、全学年そろっての授業が再開されました。児童は通学バスを使って登校していますが、これまでよりも時間がかかることから、授業は通常より 5 分短い 1 コマ 40 分に設定されています。

現時点ではこれから約 4 年間、仮校舎での学校運営が行われることになりますが、保護者からは、「仮移転はより短期間にしてほしい」「もっと近場にしてほしい」などの意見も寄せられています。

北区や教育委員会には今後とも、児童・保護者の声に寄り添い、安心して通い、学べる体制の整備を求めていきます。

北区デジタル地域通貨
「ほくペイ」がスタート

10 月から、北区内のお店で使えるキャッシュレス決済サービス、「ほくペイ」がスタート。専用アプリをダウンロードし、アカウント登録することで、区内約 700 店舗（スタート時現在）のお店で使えるようになります。

「ほくペイ」アプリ操作方法についての相談会は、北とぴあ 1 階にて 12 月 28 日まで常時開催しています（平日の午前 9 時より午後 5 時まで）。

公式ウェブサイト

困った時には、ためらわずご相談を

日本共産党北区議員団
TEL 3908-7144 FAX 5993-0280



宇都宮 ゆり
神谷 2-21-7（事務所）
090-1406-7995



ながい ともこ
浮間 3-15-4（事務所）
080-4429-6338



野口 まさと
上十条 1-15-9（事務所）
070-5658-0603



のの山 けん
岩淵町 22-31-401
090-2156-3510



本田 正則
田端 3-4-12-305
090-9240-8066



山崎 たい子
豊島 7-19-10
090-2160-1292